

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立十一屋小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	21.0	38.0	26.0	15.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	69.0	21.0	8.0	3.0	-1
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	41.0	46.0	10.0	3.0	0
問4	英語の授業の内容が分かる。	23.0	64.0	10.0	3.0	0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	10.0	64.0	21.0	6.0	-1
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答える ことができる。	18.0	51.0	23.0	8.0	0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	67.0	33.0	0.0	0.0	0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	64.0	36.0	0.0	0.0	0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	59.0	36.0	3.0	3.0	-1
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	23.0	49.0	23.0	6.0	-1

②指導改善の具体策

英語の授業が大切だと思っている児童の割合は、昨年度と比べ大きな差はなかった。しかし「英語の授業が好きだ」「英語の授業の内容が分かる」の設問に関して「そう思う」と答えた児童の割合は、前年度と比べ大幅に下がっている（問1：38%→21%、問4：58.3%→23%）。「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて比較すると概ね昨年度と大きな差がないことから、自信をもって「好きだ」「分かる」といえない現状がうかがえる。そこで、 ① 既習表現を使うことができるように動画を活用したり掲示に残したりすることや中間指導で新出表現を学んだ後、交流を通して何度も試行錯誤できる場面を設ける。 ② 「学びたい」と思えるような必要感のある単元ゴールを設け、主体的・探究的に学ぶことができるようにする。

③学校関係者評価

【外国の方・外国の文化とのかかわりについて】 令和7年5月にインドネシアからの留学生を招き、外国の方々とのふれあいをわずかな期間ではあったが教育活動の中に取り入れたことはよい。学校には外国籍の児童もあり、他国の方、文化と分け隔てなく接する土台ができている。そうした外国や外国の方々とのかかわりをこれからも大切にしていってほしい。そうしたかかわりが、「英語の勉強が好きだ」「英語の勉強は大切だ」という思いを高めていくことにつながっていくだろう。 【英語でのコミュニケーションについて】 今、大勢の外国の方が来沢している。今後、グローバルに多くの人とかかわっていくが今の子どもたちである。言っていること、書いてあることのなかみが今は分からなくても、様々な場面で英語に触れることが大切である。今後も、多くのコミュニケーションの場をつくり、子どもたちの「英語が好き」「英語の勉強は大切」につなげていってほしい。 【価値付け・意識付けを大切に】 口頭で説明があった「明確な評価の実施」について大切にしていってほしい。設定した必要感のある単元ゴールに向けて、できていること、英語を楽しんでいること（姿）、英語を大切にしていること（姿）等、子どもの学習状況を見とり、価値付け、意識付けを大切にすることで子どもたちの学びに向かう姿に変化が表れるのではないかと考える。
